

北稜KESだより2020

京都府立北稜高等学校

令和2年 7月 16日 (木)

第2号



環境チェック始めました！



6月から、各クラス的环境委員による環境チェックを始めました。①ごみの分別がきちんとできているか、②空き教室の電気はこまめに消して節電に努められているか、そして③は各クラスで自由に設定した課題に取り組んでいるかの3つを月ごとに評価しています。6月分では、良い評価がある一方で、いまひとつの評価もみられました。この取り組みは、皆さん1人ひとりが環境問題に対する正しい認識を持ち、環境保護活動に対する意識を高めるためにおこなわれています。皆さんの協力が必要不可欠です。ぜひ積極的に取り組んでください。



ミミズ堆肥と希少植物

同じく6月から、ミミズ堆肥や希少植物のお世話を環境委員会でおこなっています。

○ミミズ堆肥

生ごみをミミズの力を借りて分解・堆肥化し、植物の栽培に利用しています。使用しているシマミミズは生ごみを食べ、その栄養を植物が利用しやすい形に変えるという役割をしています。



毎日水や生ごみを与え、混ぜます。

○希少植物

生物多様性を守るために希少植物を栽培しています。北稜高校で栽培しているのは、フジバカマ、キクタニギク、フタバアオイの3種類です。



秋の七草の1つとして有名。川の護岸工事などで生息地が失われた。現在市場に流通しているのは中国原産の園芸種だが、北稜高校では京都の原種を栽培している。



「キクタニギク」の名前の由来となった東山区菊谷では絶滅した。外来種との交雑が問題とされている。北稜高校では京都の原種を栽培している。



京都の在来植物であり、毎年5月に行われる京都3大祭の1つの葵祭で使用されている。2年前には、北稜高校で育てたものも使用された。



ゴーヤカーテンが育ってきています

5月に苗を植えたゴーヤがすくすく育ち、立派なグリーンカーテンになっています。グリーンカーテンは太陽からの強い日射しを防ぎ、柔らかい光だけを通すので、室内の明るさを保ったまま、室温上昇を抑えられます。その結果、冷房効率が高まって「節電」という環境保護活動につながるのです。もうすぐ夏本番、よりすくすく育っていくことを期待します。

*アサガオなど、つる性の植物であれば、グリーンカーテンを作ることができます！皆さんも挑戦してみてもいいかも！？



花はこんな感じ



実もできているかも！？
探してみてもね◎